ＧＢＳ，group B-hemolytic streptococcus, streptococcus agalactiae, Ｂ群溶血性連鎖球菌感染症

妊娠35-37週

膣下部・入口部および肛門括約筋より口側からのスワブ採取

破水時、分娩4時間前までに、予防的抗菌剤投与：

アンピシリン（ビクシリン）、2ｇ/初回、分娩まで以後4時間毎に1ｇ、点滴、

ペニシリンアレルギー時：

セファゾリン（セファメジン）2ｇ/初回、分娩まで以後8時間毎に1ｇ、点滴、

クリンダマイシン、エリスロマシン感受性検査後：

クリンダマイシン（ダラシンＳ）900ｍｇ/初回、分娩まで以後9時間毎に800ｍｇ、点滴、

エリスロマイシン（エリスロシン）500ｍｇ/初回、分娩まで以後6時間毎に500ｍｇ、点滴、

上記アレルギー、耐性時：

バンコマイシン（バンコマイシン）1ｇ/初回、分娩まで以後12時間毎に1ｇ、点滴、